



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 11月園だより

令和2年10月26日
園長 新井 智子

〒108-0071

港区白金台

3-7-1

(3443)5666

<http://shirok>

anedai-kg.mi

nato-kyo.ed.jp/



次に向かって ホップ ステップ ジャンプ！

園長 新井 智子

「森の運動会」は、コロナ禍のため学年ごと3日に分けて「森のわくわく3デイズ ホップ ステップ ジャンプ！」として開催しました。どの学年も秋晴れのもと、6月からの保育スタートを感じさせないのびのびとした演技や競技でした。来園人数を制限していたので、多くの方に子どもたちの活躍を見ていただけませんでした。平日開催だったので、子どもたちにとっては、普段通りの力を発揮できる機会となりました。特に5歳児は、ダイナミックに「日本の祭り」で龍の舞いと太鼓の響きを演じ、リレーはクラス対抗4チームでの拮抗した勝負に一喜一憂し、終わると勝敗に関係なく清々しい満足した笑顔が見られました。それは、短期間ながら集中し、夢中になって取り組んできた成長の証です。

森のわくわく3デイズが終わり、今、園庭ではいろいろな学級カラーの帽子が混じり合い、それぞれ好きな遊びに向かっていく姿があります。4歳児が、森のリレーコースを5歳児とともに選手として走ったり、3歳児が手作りバトンを持ち、5歳児のサポートで走ったりしています。

また、3歳児が4歳児のダンスを教えてもらって踊ったり、サーキット競技を変化させて全員で楽しんだりする姿もあります。至るところで5歳児が遊びをリードしていく様子が見られます。5歳児が3デイズを機に成長し、自信や有用感をもって年下の友達にしっかりとした態度で接しているたくましさは素晴らしいものです。そして、年下の子どもたちは、憧れの気持ちを募らせ、やってみたいことに積極的に取り組み、生き生きと体を動かしています。3デイズが、3・4歳児にとっても経験の幅を広げる機会になりました。

さて、森は深い秋を迎えます。3デイズの余韻を楽しみながら、次の遊びに向かっている子もいます。自然物を使った遊びも増えていくでしょう。その遊びもまた、学年の枠を超えて関わりが広がり、「何しているの?」「やってみたいな、入れて」と、新たな異学年との交流を生み、遊びが展開していくことでしょう。

「森の園庭」は、次の豊かな遊びの場に変わり、秋とともに深まっていきます。

森のわくわく3デイズ
5歳児 演技「日本の祭り」



森のリレー 全力疾走！



<今月の指導のねらい>

3歳児

- 着替えや片付けなど、生活に必要なことに自分から取り組み、できた満足感を味わう。
- 友達と同じ場で、自分の思いを言葉や動きで表し、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 木の実や落ち葉など、秋の自然物に触れて遊ぶ楽しさを感じる。

4歳児

- 自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 学級の友達と過ごす喜びを感じ、生活に必要なことに進んで取り組もうとする。
- 園庭の落ち葉や実、栽培物など自然物に関心を持ち、触れたり集めたりして遊びに取り入れる楽しさを味わう。

5歳児

- 発表会に向けて学級の友達と考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら活動を進めていく。
- 遊びや生活の中で簡単な時間の見通しをもち、自分で意識しながら準備や片付けに取り組む。
- 秋の自然に関わり、気付いたことを伝え合ったり、遊びに取り入れたいことを楽しむ。

